

平成24年2月

王心慧 学位論文審査要旨

主 査 村 脇 義 和

副主査 渡 邊 達 生

同 長谷川 純 一

主論文

Effects of hesperidin on the progression of hypercholesterolemia and fatty liver induced by high-cholesterol diet in rats

(高コレステロール食によるラットの高脂血症および脂肪肝の進展に対するヘスペリジンの効果)

(著者：王心慧、長谷川純一、北村福之、王中志、松田明子、篠田和香、三浦典正、木村宏二)

平成23年 Journal of Pharmacological Sciences 117巻 129頁～138頁

審査結果の要旨

本研究は、高コレステロール食を投与することによって高コレステロール血症と脂肪肝を発症するラットモデルにおいて、漢方薬原料として利用される陳皮の主要成分であるヘスペリジンの効果を検討したものである。その結果ヘスペリジンは、高コレステロールの発症を抑制するだけでなく、脂質関連遺伝子発現の変化を減弱させ、脂肪肝の進展も抑制することを示したものである。さらにその作用は、ヘスペリジンによるコレステロールの吸収抑制と合成抑制によるものであることを明らかにした。本論文の内容は、消化器病学ならびに代替医薬の分野において、明らかに学術水準を高めたものと認める。